

経験すべき診察法・検査・手技(案)

資料 6

現在の到達目標 臨床研修		研究班による試案			医学教育モデル・コア・カリキュラム「G 臨床実習」 (平成28年度改訂版)	平成28年度臨床研修修了者アンケート結果				
						確実にできる、自信がある	だいたいできる、たぶんできる	あまり自信がない、ひとりでは不安である	できない	質問項目
(1) 医療面接										
1) 医療面接におけるコミュニケーションの持つ意義を理解し、コミュニケーションスキルを身に付け、患者の解釈モデル、受診動機、受療行動を把握できる。	○			—	34.3%	63.3%	1.8%	0.0%	1. 患者の解釈モデルを聞きだすことができる	
2) 患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴、系統的レビュー)の聴取と記録ができる。	○			—	35.3%	61.9%	2.2%	0.0%	2. 患者の病歴を系統的に聴取できる	
3) 患者・家族への適切な指示、指導ができる。	○			—						
(2) 基本的な身体診察法										
1) 全身の観察(バイタルサインと精神状態の把握、皮膚や表在リンパ節の診察を含む。)ができ、記載できる。 ※バイタルサイン	○			①身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。	55.3%	42.6%	1.4%	0.1%	4. バイタルサインを取ることができる	
※皮膚所見	○			—	17.8%	58.3%	22.2%	1.1%	5. 皮膚の所見を記述できる	
2) 頭頸部の診察(眼瞼・結膜、眼底、外耳道、鼻腔口腔、咽頭の観察、甲状腺の触診を含む。)ができ、記載できる。 ※眼底	○			⑮眼球に直接触れる治療を見学し、介助する。 ⑨眼球に直接触れる検査を見学し、介助する。 ⑥視力、視野、聴力、平衡検査を実施できる。	9.0%	26.5%	37.9%	26.1%	6. 眼底所見により、動脈硬化の有無を判定できる	
※鼓膜				—	12.0%	43.0%	34.3%	10.8%	7. 鼓膜を観察し、異常の有無を判定できる	
※甲状腺				—	11.9%	42.7%	34.1%	0.0%	8. 甲状腺の触診ができる	
3) 胸部の診察(乳房の診察を含む。)ができ、記載できる。	○乳房以外	○乳房		—						
4) 腹部の診察(直腸診を含む。)ができ、記載できる。	○			—	20.2%	48.0%	26.2%	4.9%	13. 直腸診で前立腺の異常を判断できる	
				—	38.2%	56.7%	4.4%	0.1%	12. 筋性防御の有無を判定できる	
5) 泌尿・生殖器の診察(産婦人科的診察を含む。)ができ、記載できる。		○		④妊娠反応検査を実施できる。						
6) 骨・関節・筋肉系の診察ができ、記載できる。	○			—	17.5%	47.1%	28.9%	5.9%	16. 関節可動域を検査できる	
				—	16.3%	48.3%	28.1%	6.7%	19. 骨折、脱臼、捻挫の鑑別診断ができる	
7) 神経学的診察ができ、記載できる。	○			—	32.9%	58.2%	7.4%	0.9%	17. 髄膜刺激所見をとることができる	
8) 小児の診察(生理的所見と病的所見の鑑別を含む。)ができ、記載できる。	○			—						
※小児の精神運動発達				—	13.3%	43.5%	34.1%	8.3%	84. 小児の精神運動発達の異常を判断できる	
9) 精神面の診察ができ、記載できる。	○			—	16.1%	46.4%	28.8%	8.1%	18. うつ病の診断基準を述べることができる	
(3) 基本的な臨床検査										
1) 一般尿検査(尿沈渣顕微鏡検査を含む。)			○	①尿検査(尿沈渣を含む)を実施できる。	17.5%	42.2%	26.4%	13.3%	20. 尿沈渣の鏡検で、赤血球、白血球、円柱を区別できる	
2) 便検査(潜血、虫卵)			○	—	30.9%	56.4%	9.8%	2.3%	21. 便の潜血反応を実施し、結果を解釈することができる	
3) 血算・白血球分画			○	—	39.1%	57.2%	3.1%	0.1%	23. 血算・白血球分画検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	
A 4) 血液型判定・交差適合試験	○			⑤血液型判定を実施できる。	26.7%	50.4%	18.7%	3.7%	41. 血液型クロスマッチを行い、結果の判定ができる	
A 5) 心電図(12誘導)、負荷心電図	○			⑦12誘導心電図を記録できる。	25.6%	61.4%	11.8%	0.6%	31. 心電図検査を自ら実施し、不整脈の鑑別診断ができる	
A 6) 動脈血ガス分析	○			—	36.4%	58.8%	4.0%	0.1%	22. 血液ガス分析の適応が判断でき、結果の解釈ができる	
7) 血液生化学的検査・簡易検査(血糖、電解質、尿素窒素など) ※生化			○	—	37.8%	59.0%	2.6%	0.0%	24. 血液生化学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	
※簡易検査(血糖、電解質、尿素窒素など)				—	37.6%	58.7%	3.0%	0.1%	26. 簡易検査(血糖、電解質、尿素窒素など)の適応が判断でき、結果の解釈ができる	
8) 血液免疫血清学的検査(免疫細胞検査、アレルギー検査を含む。)			○	—	24.5%	59.1%	14.7%	1.2%	27. 血液免疫血清学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	
9) 細菌学的検査・薬剤感受性検査・検体の採取(痰、尿、血液など)	○			②末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。						
9) 細菌学的検査・薬剤感受性検査・簡単な細菌学的検査(グラム染色など)	○			③微生物学検査(Gram染色を含む)を実施できる。	20.2%	52.0%	22.8%	4.5%	29. グラム染色を行い、結果の解釈ができる	
10) 呼吸機能検査・スパイロメトリー			○	⑪経皮的酸素飽和度を測定できる。	29.4%	59.5%	9.8%	0.7%	32. 肺機能検査で閉塞性換気障害の判定ができる	
11) 髄液検査			○	—	21.3%	59.0%	17.0%	2.1%	30. 髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	
12) 細胞診・病理組織検査			○	—						
13) 内視鏡検査			○	⑫エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。						
A 14) 超音波検査		○		⑩心臓、腹部の超音波検査を実施できる。	23.4%	54.8%	18.8%	2.4%	33. 超音波検査を自ら実施し、胆管拡張の判定ができる	
15) 単純X線検査 ※胸部			○	⑫エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。(再掲)	29.3%	59.6%	9.9%	0.5%	34. 胸部単純X線でシルエットサインを判定できる	
※腹部				//	35.3%	58.4%	5.6%	0.1%	35. 腹部単純X線でイレウスを判定できる	
16) 造影X線検査			○	//						
17) X線CT検査			○	//	29.5%	60.2%	9.5%	0.2%	36. 胸部CTで肺腫による所見を見出し、結果の判定ができる	
18) MRI検査			○	//	34.0%	57.2%	8.0%	0.2%	37. 頭部MRI検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる	
19) 核医学検査			○	//						
20) 神経生理学的検査(脳波・筋電図など)			○	⑧脳波検査の記録ができる。						

(4) 基本的手技									
1) 気道確保を実施できる。	○			②一次救命処置を実施できる。					
2) 人工呼吸を実施できる。(バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気を含む。)	○			②一次救命処置を実施できる。	25.7%	55.1%	17.2%	1.2%	53. レスビレーターを装着し、調節できる
3) 胸骨圧迫を実施できる。	○			②一次救命処置を実施できる。	55.3%	41.9%	1.9%	0.1%	51. 心マッサージができる
4) 圧迫止血法を実施できる。	○			—					
5) 包帯法を実施できる。	○			—					
6) 注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保、中心静脈確保)を実施できる。	○中心静脈以外	○中心静脈		⑥末梢静脈の血管確保を実施できる。 ⑦中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。 ⑬注射(皮内、皮下、筋肉、静脈内)を実施できる。					
7) 採血法(静脈血、動脈血)を実施できる。	○			⑤静脈採血を実施できる。 ⑧動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。	59.9%	37.8%	1.8%	0.1%	39. 静脈血採血が正しくできる
					59.1%	38.1%	2.1%	0.2%	40. 動脈血採血が正しくできる
					20.6%	50.3%	22.9%	5.5%	85. 小児の採血、点滴ができる
8) 穿刺法(腰椎)を実施できる。		○		⑨腰椎穿刺を見学し、介助する。	35.5%	51.1%	11.1%	1.8%	43. 腰椎穿刺を実施できる
9) 穿刺法(胸腔、腹腔)を実施できる。		○		—					
10) 導尿法を実施できる。	○			⑪尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる。	49.4%	44.5%	4.7%	0.5%	44. 導尿法を実施できる
11) ドレーン・チューブ類の管理ができる。	○			⑫ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。					
12) 胃管の挿入と管理ができる。	○			⑩胃管の挿入と抜去ができる。					
13) 局所麻酔法を実施できる。	○			⑭全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助する。	33.7%	57.9%	7.2%	0.3%	46. 局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える
14) 創部消毒とガーゼ交換を実施できる。	○			⑤創の消毒やガーゼ交換ができる。					
15) 簡単な切開・排膿を実施できる。	○			—					
16) 皮膚縫合法を実施できる。	○			④基本的な縫合と抜糸ができる。	37.7%	54.1%	7.2%	0.2%	48. 皮膚縫合法を実施できる
17) 軽度の外傷・熱傷の処置を実施できる。	○			—	24.0%	50.9%	21.0%	3.3%	47. 傷病の基本的処置として、テフリードマンができる
18) 気管挿管を実施できる。		○		③二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。	39.1%	53.6%	6.2%	0.3%	52. 気管挿管ができる
19) 除細動を実施できる。		○		②一次救命処置を実施できる。	32.2%	55.8%	10.8%	0.4%	54. 電気的除細動の適応を挙げ、実施できる
—				①体位交換、移送ができる。					
—				①無菌操作を実施できる。					
—				②手術や手技のための手洗いができる。					
—				③手術室におけるガウンテクニックができる。					
—				⑥手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。					
(5) 基本的治療法									
1) 療養指導(安静度、体位、食事、入浴、排泄、環境整備を含む。)ができる。	○			—					
2) 薬物の作用、副作用、相互作用について理解し、薬物治療(抗菌薬、副腎皮質ステロイド薬、解熱薬、麻薬、血液製剤を含む。)ができる。	○			—	30.5%	62.2%	6.3%	0.2%	45. 抗菌薬の作用・副作用を理解し処方できる
3) 基本的な輸液ができる。	○			—	30.3%	59.3%	9.2%	0.5%	42. 輸液の種類と適応を挙げ輸液の量を決定できる
4) 輸血(成分輸血を含む。)による効果と副作用について理解し、輸血が実施できる。	○			⑭全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助する。					
—				②皮膚消毒ができる。					
—				③外用薬の貼付・塗布ができる。					
—				④気道内吸引、ネブライザーを実施できる。					
(6) 医療記録									
1) 診療録(退院時サマリーを含む。)をPOS(Problem Oriented System)に従って記載し管理できる。	○			⑯診療録を作成する。	33.5%	59.9%	5.3%	0.3%	74. 診療録(退院時サマリーを含む)をPOS(Problem Oriented System)に従って記載し管理できる
2) 処方箋、指示箋を作成し、管理できる。	○			—					
3) 診断書、死亡診断書、死体検案書その他の証明書を作成し、管理できる。	○			⑰各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。					
4) CPC(臨床病理検討会)レポートを作成し、症例呈示できる。	○			—					
5) 紹介状と、紹介状への返信を作成でき、それを管理できる。	○			—					
(7) 診療計画									
1) 診療計画(診断、治療、患者・家族への説明を含む。)を作成できる。	○			—	30.5%	61.1%	7.2%	0.3%	95. 診療計画(診断、治療、患者・家族への説明を含む)を作成できる
2) 診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる。	○			—	29.8%	62.3%	6.7%	0.4%	96. 診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる
3) 入退院の適応を判断できる(デイサージャリー症例を含む。)	○			—					
4) QOL(Quality of Life)を考慮にいたった総合的な管理計画(リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む。)へ参画する。	○			—	18.4%	54.8%	22.5%	3.4%	61. 医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる
					15.7%	55.6%	24.6%	3.3%	70. 地域の医療資源を活用し、入院患者の退院後も継続性のある医療を提供できるよう調整することができる